

プレスリリース  
PRESS RELEASE  
2019/08/06

アーツ前橋  
ARTS MAEBASHI

# 表現の生態系

## The Ecology of Expression

世界との関係をつくりかえる Remaking Our Relations with the World

精神

市民運動

参加する意識

手仕事

共同体

自然愛

ジェンダー

時層

ケア

信仰

神話

2019. 10.12 Sat  
— 2020. 1.13 Mon



## 概要

あらゆる存在によって構成される生態系でささやかれる小さな声を誰かが聴き取り、目に見える表現にすることで、個人の心を震わせ、共鳴することがあります。自分以外の異なる存在に目を向ける時、私たちはこの社会におけるしがらみや境界に出会い、現代社会における価値観の中で生きることの困難さを感じることもあります。このような状況において、芸術や美術館にはどのような役割が求められているのでしょうか。

アーツ前橋では、福祉、教育、医療などの分野と協働して行う「表現の森」プロジェクトを2016年に開始し、現代社会において分断されている生の全体性を「表現」を通じてつなぎ直すような試みを行っています。本企画展では、現代だけでなく歴史や異なる地域を横断しながら、世界との関係をつくりかえていく実践こそ現代の芸術に託された重要な役割なのではないかという期待を込め、31組のアーティストの作品やプロジェクトをご紹介します。

※表現の森の活動については特設サイトをご参照ください。

<https://www.artsmabashi.jp/FoE/>

参加作家：

あかたちかこ＋ハレルワ | イケムラレイコ | 石坂玄士＋山賀ざくろ＋えいめい＋じゃんけんぼん | 糸井潤 | アンナ・ヴィット | 岡本天明 | オノサト・トシノブ | 尾花賢一＋石倉敏明 | 金井南龍 | 川瀬慈 | 鴻池朋子 | 地主麻衣子 | 白川昌生 | ブルーノ・タウト | 高山明 / Port B＋あかつきの村 | 滝沢達史＋アリスの広場 | 長重之＋西沢彰 | 出口王仁三郎 | 出口なお | ジャン・デュビュッフエ | 東宮稔 | 中村裕太 | 成瀬杏子 | 廣瀬智央＋後藤朋美＋のぞみの家 | ブブ・ド・ラ・マドレーヌ | ヨーゼフ・ボイス | 松澤宥 | アンリ・ミショー | 三輪途道 | 山田創平 | ヴィフレド・ラム

## 本展の見どころ

本展のキーワード：

参加する意識、時層、DIO (Do It Ourselves)、市民運動、精神、信仰、シャーマニズム、自然、神話、弔い、周縁性、ローカル、ジェンダー、福祉、ケア、老い、共同体、移民、難民、障害、アウトロー、ひきこもり、手仕事、教育

### A：社会課題に対して自分たちにできること

2016年からアーツ前橋が始めた「表現の森」プロジェクトは福祉、医療、教育という異なる分野とアートが会うことで社会における「生きづらさ」に対し、表現の持つ可能性を考えるものです。本展では、これらのプロジェクトを地域の美術館として行う意義を再考する機会と捉え、この4年間の活動の蓄積をご覧ください。また、新たなプロジェクトとして県内でLGBTQ支援をテーマに活動を行う団体ハレルワとその分野での先駆者である山田創平、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、あかたちかことともにマイノリティの権利に対して私たち自身がどのような行動をとることができるのかを考えるプロジェクト／作品を提示します。

### B：ローカルリティに注目し、新しい歴史を発掘

本展では、9作家が新作を発表します。都会とは異なる赤城山という風土に特徴づけられる前橋に注目し、赤城山の豊かな自然が宗教性や共同性においてどのような役割を果たしてきたのかについてアーティスト独自のリサーチを通じて考えます。尾花賢一は、国定忠治や暴走族などのアウトローを描き、その生きかたを描き出します。また、白川昌生は、赤城山を神聖な山とした出口王仁三郎（大本教）、岡本天明、金井南龍、ヨーゼフ・ボイスやシュタイナーなどを取り上げながら、日本における精神の流れとヨーロッパにおける芸術の関係を提示します。

### C：分野横断型の企画展

芸術人類学や神話学を専門とする石倉敏明、都市社会学を専門にする山田創平、執筆業も精力的に行うアーティスト白川昌生とアーツ前橋学芸員による企画委員会を構成することで、社会における芸術の役割を異なるさまざまな視点から検証します。

### D：充実した館外プログラム

1979年にキリスト教の精神から開所され、その後インドシナ難民で精神疾患を持つ人々を受け入れてきたあかつきの村を舞台に高山明／Port Bはこの場所独自の歴史をARを駆使して体験できる新作を発表します。また、滝沢達史は、ひきこもりや不登校の経験のある

若者たちが通うアリスの広場と協働し、まちなか商店街での拠点づくりを新たなプロジェクトとして発表します。

## 開催概要

(展覧会名) 表現の生態系 世界との関係をつくりかえる

(英語表記) The Ecology of Expression : Remaking Our Relations with the World

【会 期】 2019年10月12日(土)～2020年1月13日(月・祝)

【開館時間】 10:00～18:00 (入場は17:30まで)

【休 館 日】 水曜日、年末年始(2019年12月28日～2020年1月4日)

【会 場】 アーツ前橋(群馬県前橋市千代田町5-1-16)

【観 覧 料】 一般600円／学生・65歳以上・団体(10名以上)400円／高校生以下無料

※2019年10月28日(月)群馬県民の日、12月10日(火)世界人権デー、  
2020年1月9日(木)前橋初市まつりの日は無料

※以下の方は無料でご入場いただけます。

- 1) 障害者手帳をお持ちの方と介護者1名
- 2) 雇用保険受給資格者証をお持ちで求職中の方
- 3) 児童扶養手当証書をお持ちの方
- 4) 要介護(支援)認定有効期限内の介護保険被保険者証をお持ちの方
- 5) 難民認定証明書をお持ちの方
- 6) 生活保護受給票をお持ちの方
- 7) 教員
- 8) 福祉施設に勤務されている方
- 9) 美術・医療・福祉・教育を専門に学ぶ学生

【主 催】 アーツ前橋

【企画協力】 石倉敏明(秋田公立美術大学准教授)、白川昌生(アーティスト)、山田創平(京都精華大学准教授)

【協 力】 アートによる対話を考える実行委員会、京都精華大学

【後 援】 上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、前橋商工会議所

## プレス向けツアー

- 【期 日】2019年10月11日（金）  
【時 間】14:00～18:00（※最終入場時間は17:30）  
※14:30より出品作家と担当学芸員が作品を紹介します。

Port B の新作を体験していただけるプレス向けバスツアーを開催予定

- 【期 日】2019年10月17日（木）  
【時 間】13:00～15:00  
【集合場所】前橋駅 ※事前申込制となりますのでご希望の方はお問い合わせください。

## 関連イベント

### ① トーク「表現の生態系とは何か？」

本展のコンセプトメイキングのために集まった企画委員によるこれまでの意見交換や地域リサーチ、新作制作に関する舞台裏についてお話しします。

日時：2019年10月12日（土）14:00～16:00

講師：石倉敏明、白川昌生、山田創平、住友文彦（アーツ前橋館長）、今井朋（本展担当学芸員）

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着40名

参加費：無料

### ② トーク「前橋聖務日課」

1979年にエマウス運動として始まった「あかつきの村」と協働して制作した《前橋聖務日課》（2016年）や今回の新作を通して共同体のあり方を考えます。

日時：2019年10月22日（火・祝）14:00～15:30

講師：石倉敏明、猪股剛（臨床心理士）、高山明（Port B）、田中沙季（Port B）、福西敏宏（プロジェクトコーディネーター）

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着40名

参加費：無料

### ③ 上映+トーク「神々との饗宴」

「精霊の馬／When Spirits Ride Their Horses」（日本語字幕版、28分）の上映と企画展内で上映される「春駒」「ラリベロッチ」の作品から、儀式や霊媒についてのトークを展

開します。

日時：2019年11月2日（土）14:00～16:30

講師：川瀬慈（国立民族学博物館准教授）、白川昌生、住友文彦

会場：アーツ前橋シネマハウス

定員：先着50名

参加費：無料

協力：前橋映像祭2019

④ トーク「アートとフクシ」**表現の森シンポジウム**

アクティビスト／元セックスワーカーとしても活動するブブ、ひきこもりや不登校の経験のある若者たちと活動を行う滝沢と「アートと福祉」の関係を考えます。

日時：2019年11月24日（日）14:00～15:30

講師：滝沢達史（本展参加作家、アーティスト）、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ（本展参加作家、アーティスト）

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着40名

参加費：無料

⑤ トーク「アートを通して考える「マイノリティ」と「市民運動」」**表現の森シンポジウム**

群馬におけるマイノリティの現状や、人権状況、いま求められる施策や対応について語り、そのような現状に対してアートをはじめとした「表現」が持ちうる力について考えます。

日時：2019年12月1日（日）14:00～16:00

講師：あかたちかこ（大阪市立阿武山学園／児童自立支援施設講師）、間々田久渚（ハレルワ代表）、山田創平、吉野晶（弁護士）、今井朋

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着40名

参加費：無料

⑥ トーク「アウト・オブ・民藝 — 民藝運動のはぐれもの | 群馬篇」

『アウト・オブ・民藝』（誠光社、2019年）の著者によるブルーノ・タウト、達磨、郷土玩具など群馬の工芸を巡るなかよしトーク。

日時：2020年1月12日（日）14:00～15:30

講師：軸原ヨウスケ（デザイナー）、中村裕太（本展参加作家、アーティスト）

会場：アーツ前橋 地下展示室

定員：先着30名

プレスリリース  
PRESS RELEASE  
2019/08/06

アーツ前橋  
ARTS MAEBASHI

参加費：無料 \* 要観覧券

⑦ 学芸員によるギャラリーツアー

日時：2019年11月16日（土）、12月14日（土）いずれも14:00～15:00

会場：アーツ前橋 1階・地下展示室

参加費：無料 \* 要観覧券、事前申し込み不要

⑧ おしゃべりアートデイズ

日時：2019年12月2日（月）～8日（日）

平日14:00～14:30 / 土日11:15～11:45

会場：アーツ前橋 1階・地下展示室

参加費：無料 \* 要観覧券

※問い合わせ・お申込み（⑦を除く）はアーツ前橋（tel:027-230-1144）まで

広報提供用画像

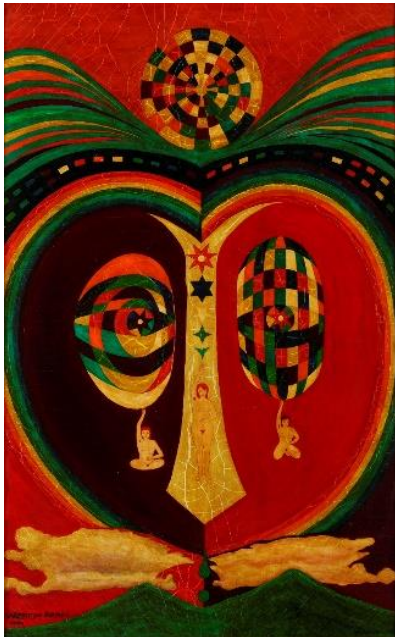
【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】





「表現の生態系展 世界との関係をつくりかえる」広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○を付けてください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。

\*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

\*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット
【1】	糸井潤《Topology #057》2015年 作家蔵
【2】	尾花賢一《風男》2019年 作家蔵
【3】	金井南龍《龍宮城の花火》1969年 さすら蔵(足利市立美術館寄託)
【4】	鴻池朋子《Dream Hunting Grounds》(部分) 2018年 作家蔵
【5】	高山明/Port B+あかつきの村《前橋聖務日課》2016年 作家蔵
【6】	ブブ・ド・ラ・マドレーヌ《ある晴れた日に永遠が見える》1999年 オオタフ アインアーツ蔵

◎読者プレゼント用招待券(5組10名様) 希望します 希望しません

媒体情報 \*できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌:	
発行日:	発行元:
貴社名:	
部署名:	担当者名:
所在地:	
TEL:	FAX:
E-MAIL:	

## 記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

## お問い合わせ先

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当 塚（広報担当）、今井（学芸担当）

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL : 027-230-1144 FAX : 027-232-2016 [http : //www.artsmaebashi.jp/](http://www.artsmaebashi.jp/)

E-MAIL : [artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp](mailto:artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp)

## 交通案内

### ●公共交通機関

JR 前橋駅から徒歩約 10 分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約 5 分

### ●自動車

関越自動車道 前橋 I.C から車で

約 15 分



※地図内 **P** マークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に割引処理いたします。